



景観デザイン支援機構 連続「景観講座」

Town Design Aid, Japan : Lecture Series

2009年度 開催予定

連続「景観講座」は、都市景観、建築とまちなみ、都市再生・開発にかかわる第一人者が講師を務めます。「景観」や「まちなみ」、「都市開発」をキーワードとして、専門性と一般性の視野に立って、企業関係者から学生、公務員の方々までを対象としています。 **※第5講と第6講の日程が変更になっています。ご注意ください。**

- 第1講 テーマ『環境色彩デザイン』** **5月21日(木)18:30~20:30**
講師 吉田 慎悟 色彩計画家
 色彩は形態や素材と関係して多様な空間を生む。そのため、人々の暮らしを豊かにする空間を創造するために色彩の検討は不可欠である。すべての景観構成要素の関係性を考える環境色彩デザインを紹介する。
- 第2講 テーマ『夜景をデザインするという仕事』** **6月25日(木)18:30~20:30**
講師 面出 薫 照明デザイナー、(株)LPA 代表取締役、武蔵野美術大学 教授
 都市景観は一日の半分の時間帯を太陽に影響されない人工的な姿を呈している。美しく気持ちの良い夜の都市景観を手に入れたいものだ。都市照明の実例を見せながら「夜景のデザイン」という実務を紹介する。
- 第3講 テーマ『生活と景観の色彩』** **7月16日(木)18:30~20:30**
講師 杉山 朗子 (株)日本カラーデザイン研究所 取締役、景観事業部長兼任
 生活における色彩のあり方を捉え、様々な分野との比較から景観の色彩と人々との関わりを取り上げる。時代の価値観とともに変化してきた景観の色彩の実情から、今後の色彩計画へのヒントを導き出したい。
- 第4講 テーマ『光環境を知る・読む・創る』** **8月20日(木)18:30~20:30**
講師 近田 玲子 照明デザイナー
 まず、物の本来の姿を明らかにし、際立たせ、喜びを与える光環境を知る。続いて、その光環境の美しさ、心地よさはどこからくるのかを読み解く。最後に、環境をより感動的に際立たせる光を創る過程を明らかにする。
- 第5講 テーマ『パブリック・サイン論』** **9月17日(木)18:30~20:30**
講師 中村豊四郎 アール・イー・アイ(株)代表取締役
 道案内から電子掲示まで公共の目に触れる多種のサインを、如何に美しくデザインし、秩序立った環境を作るかについて実務的に解説する。
- 第6講 テーマ『街の道具論 -都市デザインにおける道具の役割- 』** **10月15日(木)18:30~20:30**
講師 宮沢 功 環境デザイナー
 従来の都市デザインは、全体の計画や施設計画に重点がおかれ、人と接するストリートファニチャー(街の道具)からの視点が欠けている。街づくりに対し人に一番近い道具、及び最近話題の屋外広告の役割、機能を考えた都市デザインのありかたを考える。
- 第7講 テーマ『実務の中の素材』** **11月19日(木)18:30~20:30**
講師 勝田(物林株式会社 環境・景観事業部室長) 鈴木(住軽日軽エンジニアリング 商品開発グループ長) 金山(サントリーミドリエ株式会社 代表取締役社長)
 景観素材の適応は場所と場面で異なっている。素材の開発やデザインを実務的な経験を通じて解説する。多くの現場で使用される素材の中で今回木材、アルミ、について解説する。又都市の緑についても重要な素材と考え特殊緑化について解説する。
- 第8講 テーマ『都市空間におけるアート実践』** **12月17日(木)18:30~20:30**
講師 工藤 安代 パブリックアート・コンサルタント、NPOアート&ソサイエティ研究センター代表理事
 近年、都市とアート活動はより刺激に満ちた関係へと変容している。美術館の中での展示から都市の雑踏へと拡張していくアート。この新たな試みが都市空間に与える波紋力を国内外の事例等を通じて解説する。

◆会場： デジタルハリウッド秋葉原校 セカンドキャンパス

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-1-16 ダイドーリミテッドビル7階

◆参加費：①TDA正会員・賛助会員(団体を含む)・学生(デジハリ大学生を含む) 2,000円/回 ②一般 3,000円/回
 [全8回前払いの場合は、①は12,000円、②は20,000円]

◆主催：特定非営利活動法人 景観デザイン支援機構(TDAJ) Tel: 080-6722-4114

[お申込み] <http://www.tda-j.or.jp/> 定員100名(先着順)

※本講座は「都市計画CPD」プログラムの認定を受けています